

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	スポーツ推進事業			事業番号	008-091
担当部署名	文化観光	局	スポーツ	部	スポーツ推進課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(7) 生涯にわたる多彩なスポーツライフの実現	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①スポーツ・運動習慣定着による健康増進			
			有・無	指標名	スポーツ・運動習慣者割合（1回30分以上の運動を週2回以上行う者）			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有	現状値	23.7%(2017年度)	目標値	50.0%(2025年度)	
			有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.4	
		有	取組	スポーツ・運動習慣定着による健康増進				
寄与するKPI	有・無	指標名	健康寿命					
	有	現状値	男性：71.46年、女性：73.60年(2016年度)	目標値	男性：73.20年、女性：76.20年(2023年)			

2	関連計画	堺市スポーツ推進プラン			
3	事業開始年度	昭和 22 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	スポーツ基本法、堺市スポーツ推進委員に関する規則			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、堺市教育スポーツ振興事業団、総合型地域スポーツクラブ、地域団体			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民、スポーツ推進委員(約120人)	対象数	単位 — 人	
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	ライフスタイルに応じて、年齢や性別、国籍、障害の有無にかかわらず、すべての人が生涯にわたりスポーツを身近なものとして親しむことができ、豊かで健やかな生活を過ごせる地域社会の実現			
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>①総合型地域スポーツクラブ 地域で多様な運動・スポーツを楽しめる環境を創出するためには、キーパーソンとなる人材や指導者の確保、運営ノウハウが必要であり、新たなクラブの創設支援及び既存クラブの活動拡大や安定した運営体制の構築を支援。</p> <p>②堺市民オリンピック 市民スポーツの祭典として、市民の健康増進、体力の向上、スポーツマンシップの向上を図ることを目的に、毎年スポーツの日に実施。令和4年度は令和4年10月10日に開催。雨天のため一部の屋外競技（ソフトボール、ゲートボール、グラウンド・ゴルフ）は中止。</p> <p>③トップレベルチームとの連携 堺ブレイザーズ、オリックスバファローズ、セレッソ大阪等のトップレベルチームと連携し、市民がトップレベルのスポーツに触れる機会を提供するため、各チームの公式戦において、市民優待観戦企画を実施。また、総合型地域スポーツクラブ等が実施するスポーツ教室に講師を派遣。</p> <p>④スポーツ推進委員 地域のスポーツ推進の中心的存在として実技指導や助言を行っており、その資質向上を図るため、各種研修や主催大会を実施。</p> <p>⑤ビジネスパーソン向け体力測定会 運動・スポーツ実施率の低いビジネスパーソン世代、子育て世代を対象に企業や事業所、地域のイベント等で体力測定会を実施。</p>			
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	(公財) 堺市教育スポーツ振興事業団、堺市民オリンピック委員会、総合型地域スポーツクラブ			
10	公民連携・協働事業	総合型地域スポーツクラブによる地域スポーツ活動の実施、トップレベルチームとの連携によるスポーツ教室の開催			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標 点検対象年度	
	堺市民オリンピック参加者数	人	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
			目標値	7,000	7,000	7,000	7,000
			実績値	中止	2,791		
	達成率	—	40%				
当該指標を選定した理由	市内全域を対象としてスポーツを通じた地域交流の場となっている本イベントの参加者数は地域スポーツ活動の状況を示す指標となるため（令和3年度は新型コロナのため中止、令和4年度は雨天のため一部種目のみ実施）						
目標値の設定根拠・算出方法	市の人口が減少傾向にあることを考慮し、参加者数の維持を目標とする。						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
	総合型地域スポーツクラブ会員数 (設立準備団体含む)	人	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			目標値	700	700	700	
			実績値	495	624		
	達成率	71%	89%				
当該指標を選定した理由	幅広い年代の市民が身近な地域でスポーツに親しむことができるクラブであり、会員数は習慣的に運動を行う市民が増加していることを示す指標となるため						
目標値の設定根拠・算出方法	各区1クラブの設置をめざし、安定的運営のため各クラブ100人の会員獲得を目標とする。（7クラブ×100人）						

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	スポーツ推進事業	事業番号	008-091
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度	
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算	
事業費 (a)	51,181	52,993	76,022	65,782	78,723	
財源	国支出金		1,280	936	1,280	
	府支出金		0			
	市債		0			
	その他 (日本スポーツ振興センター助成金、基金繰入金)	1,696	13,324	29,640	6,366	36,901
	受益者負担金(使用料、手数料等)			0		
一般財源	49,485	39,669	45,102	58,480	40,542	
14 人件費 (b)	24,600	28,800	49,200	45,100	43,100	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	75,781	81,793	125,222	110,882	121,823	

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち 一般財源	項目	年度	事業費	うち 一般財源
堺市民オリンピック開催負担金 (コロナ対策費含む)	R5 予算 24,603	24,603	奨励金	R5 予算 3,000	0		
	R4 決算 12,457	11,521	大浜体育館魅力創出事業	R4 決算 2,000	2,000		
R5 予算 15,280	0	R5 予算 2,000		0			
堺市スポーツ協会事業補助金	R4 決算 7,420	7,420	女性・子どものスポーツ機会の充実	R4 決算 0	0		
	R5 予算 7,700	7,700		R5 予算 2,205	0		
総合型地域スポーツクラブ設立・運営補助金	R4 決算 3,965	0	総合型地域スポーツクラブ推進ネットワーク負担金	R4 決算 332	332		
	R5 予算 9,288	0		R5 予算 1,000	0		
堺プレイヤーズ市章等掲載料	R4 決算 4,000	4,000	その他	R4 決算 11,244	10,913		
	R5 予算 4,000	0		R5 予算 9,647	8,239		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
① 市民オリンピック参加者数	人	-	2,791
② 上記①にかかる年間経費	千円	0	12,457
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位		4,463
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

- 18 総合型地域スポーツクラブ設立・運営補助金は日本スポーツ振興センター助成金を100%充当して実施している。令和4年度は、補助対象の2団体（補助金額4,020千円）で計377回のスポーツ教室が開催され、延7,346人の参加があった。新型コロナウイルス感染症の影響でクラブの活動を休止せざるを得ない期間もあり、会員数は目標値に達しなかったが、助成金を100%活用した補助事業であり、費用対効果は高い。
- 18 堺市民オリンピックは3年ぶりに感染対策を講じて開催。（当日は雨天のため一部種目を中止。会場装飾や掲示物の簡素化、大会プログラム等印刷物の見直しを行ったほか、協賛獲得活動を強化した。（第45回大会比29.5%増）
- 18 スポーツ・運動実施率の低いビジネスパーソン世代、子育て世代を対象に企業、区民まつりなどで体力測定会を実施した。ゼロ予算事業で、11事業所1,499人が参加し、費用対効果は高い。また、運動・スポーツへの関心向上のため、スポーツ部公式Twitterを活用した情報発信等コストをかけずにできる取組みを行った。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

- 19 ①総合型地域スポーツクラブ
設立・運営補助に加え、令和4年度は、クラブ運営に携わることができる人材の育成に重点を置き、日本スポーツ協会や大阪府スポーツ協会が実施する研修会や養成講座の受講経費の一部助成を実施したほか、スポーツ教室の開催に必要な用具の支給事業を実施した。
- ②堺市民オリンピック
令和4年度大会は、3年ぶりに感染防止対策を講じて開催。雨天のため一部種目（6種目中3種目）の開催となった。参加者数は2,791人とどまった。
市内全校区が一室に会し、地域交流や日頃のスポーツ活動の成果を発表する機会となる堺市民オリンピックは、市民の日頃のスポーツ活動のモチベーションになりうるものであり、本大会が市民に「参加したい」と思われるような魅力的な大会になるよう、スポーツ推進委員をはじめ関係団体の意見を踏まえ、改善を図る。
- ③トップレベルチームとの連携
令和2年4月にリニューアルオープンした大浜体育館（大浜だいしんアリーナ）の魅力を広く内外に発信するため、前年度に引き続き、ホームゲームを行う堺プレイヤーズと連携し、南海本線・堺駅への広告掲出や地元商店会の協力によるバナー、のぼりの掲出を実施した。加えて、令和4年度は堺プレイヤーズによるプレシーズンマッチを実施し1,000人を無料招待した。アンケート結果から全体の約40%が大浜体育館に初めて来場された方であり、多くの方に大浜体育館及び周辺地域の魅力を知っていただくきっかけとなった。
- ④スポーツ推進委員
地域で人気のあるグラウンド・ゴルフ実技研修会を実施し、指導力の向上を図ったほか、スポーツを通じた地域交流を図るため、卓球及びバレーボール大会を開催した。
- ⑤ビジネスパーソン向け体力測定会
体力測定会は、自身の状態に気づき、運動・スポーツを始めるきっかけになるものであり、運動・スポーツ実施率の低いビジネスパーソン世代、子育て世代を対象に企業や事業所、区民まつりなどで体力測定会を実施。広報さかい、SNSでの周知や企業への働きかけを行い、11事業所で合計1,499人が参加した。また従業員の運動実施や企業の継続的な取組を促進するため、アンケート調査を実施した。（体力測定会3か月後に実施したアンケート結果について、スポーツ・運動の実施頻度についての設問に対し、「現在も体力測定会参加前と同じ頻度でスポーツ・運動を行っている」、「体力測定会参加後にスポーツ・運動の実施頻度を増やした」と回答した方の割合は48.3%であった。）